




# 日本社会福祉学会第70回秋季大会開催のご案内

実行委員長 津田 耕一（関西福祉科学大学）



この度、日本社会福祉学会第70回秋季大会を関西福祉科学大学にて10月15日（土）・16日（日）に開催させていただきます。

現在、学会役員・事務局をはじめ多くの方々のご支援・ご協力を頂きながら、本大会の開催に向けて準備を進めているところです。この場をお借りして感謝申し上げます。

本大会では、感染対策に万全を期して対面を基本として、一部のプログラムにおいてZoomウェビナーによるライブ配信やオンデマンド配信との併用での開催を目指しております。遠方からも、自宅からも参加が可能となりますところから、多くの皆様に参加いただきますよう、スタッフ一同心よりお待ちしております。

さて、今回の大会のテーマは、「新たな日常と社会福祉—「つながり」の未来を見据えて—」です。大会テーマを受け大会校企画のシンポジウムとして、各領域の立場から大会テーマに沿って論じていただきます。私たちの生活の日常性ということについて、これまでの幾多の災害やさらに今回の新型コロナウイルスの感染拡大を機に考えさせられるようになりました。私たちの日常の生活様式が変化し、新たな生活様式の模索が迫られています。人々の生活に大きく関与している社会福祉の果たす役割はますます重要になってくるはずで、そのなかであって、社会福祉に従事する専門職は不可欠な存在とも言えます。

地域共生社会が謳われている今日、人と人とのつながりの重要性と一方で希薄化しているとも言われているなか、「つながり」をキーワードに社会福祉に従事する専門職の存在と役割を再考し、専門性を発揮できるようどう支援していけばよいかについて改めて考えていくべき時期にあると思います。社会福祉に従事する専門職はエッセンシャルワーカーであると言っても過言ではありません。専門職が専門職としての役割を果たすことが出来るよう支援するという事は日本社会福祉学会にとっても大きな使命とも言えます。

今日の社会情勢、世の中の動きのなかで、地域共生社会に向けて社会福祉を研究する者、社会福祉の仕事に従事する者などさまざまな立場で社会福祉に関係する者が、どのような役割を果たしていけばよいかについて、多くの皆様にご参加いただき、活発な議論がなされることを期待しております。

本大会では、「留学生と国際比較研究のためのワークショップ」「スタートアップ・シンポジウム」「学会企画セッション」「特定課題セッション」「口頭発表」「ポスター発表」など従来の日本社会福祉学会のプログラムに戻す形で多様なプログラムを企画しております。口頭発表・ポスター発表・特定課題セッションにおいて様々な分野の研究テーマについて150題以上のエントリーがありました。

本大会が開催されます関西福祉科学大学は、大阪府の東部に位置しており、大阪の中心地から1時間程度の郊外にあり、のどかな雰囲気のある住宅街に位置しております。3年ぶりの対面形式での学会開催を予定しておりますので、皆様お誘いあわせのうえ、是非ご参加ください。